

# 山形県でのメディカル コントロール体制強化事業 ～MC医師の立場から～

山形県立中央病院 救急科  
MC医師 武田 健一郎

平成27年度全国メディカルコントロール協議会連絡会(第1回)  
平成27年6月4日 富山県民会館

# 山形県でのMC体制強化事業

山形県が参画を決定  
MC医師の選定

背景：山形県では長時間搬送先が決まらず命を失う事例は発生していない。しかし搬送件数は増加傾向にあり、将来的にそのような事例の発生が危惧される。その防止のための取組みが必要である。

MC医師制度の内容説明・任命内示

平成26年12月

「MC体制の整備に関わる医師の  
研修会」への参加

平成27年1月

MC医師正式任命

# 山形県のMC医師への要望

- 救急医療機関及び後方支援病院の確保・支援

搬送基準について救急医療機関の  
医師等との意見交換

- 搬送先医療機関及び転送先医療機関の  
確保・支援

搬送困難事例受入医療機関の整備の  
必要性についての意見交換・調整

意見交換？

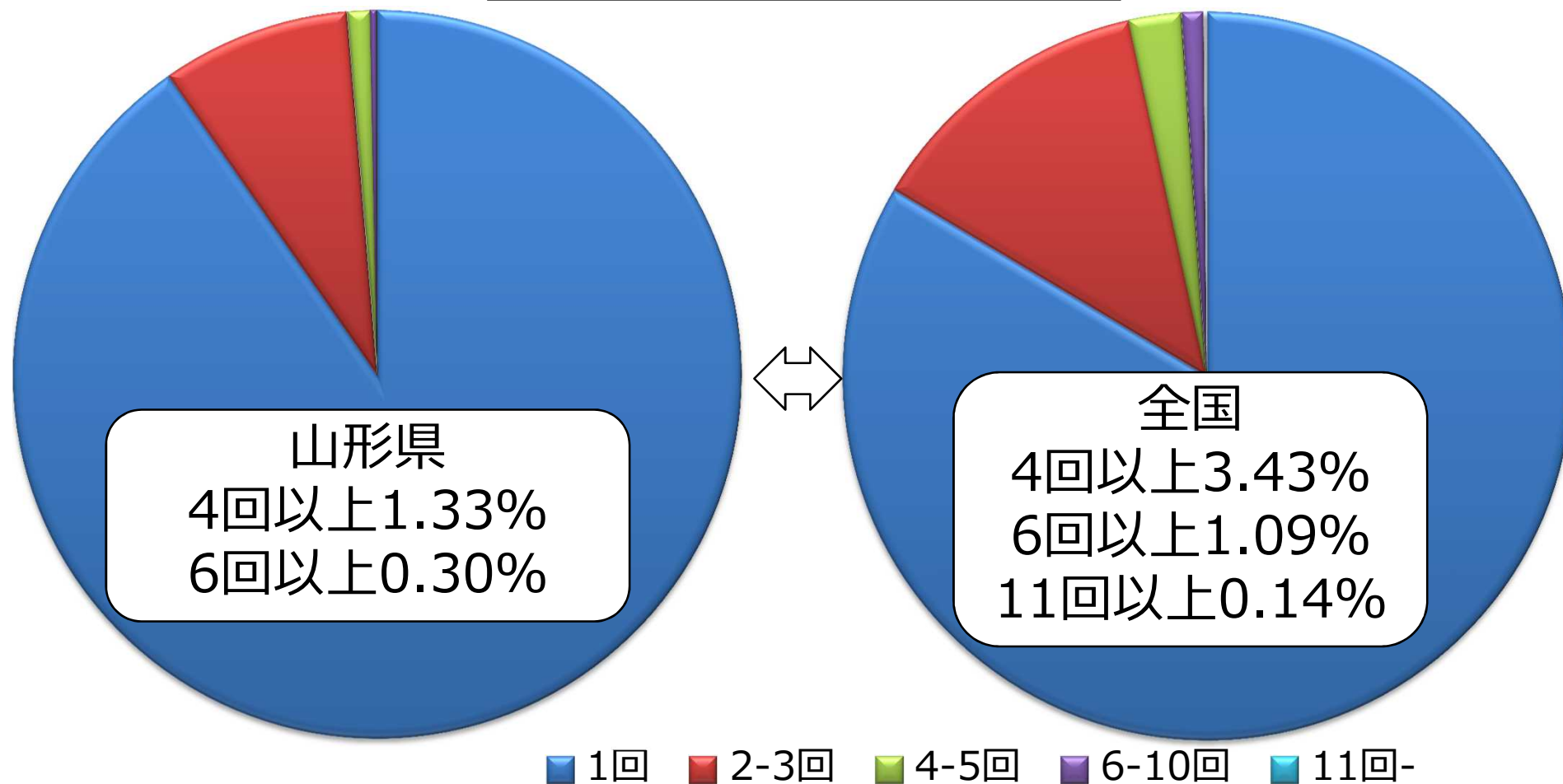


結果を出すために、  
疑問：何をすればよいのか？  
不安：何が出来るか？

よくわからないままの船出???

# 受入照会件数(平成25年)

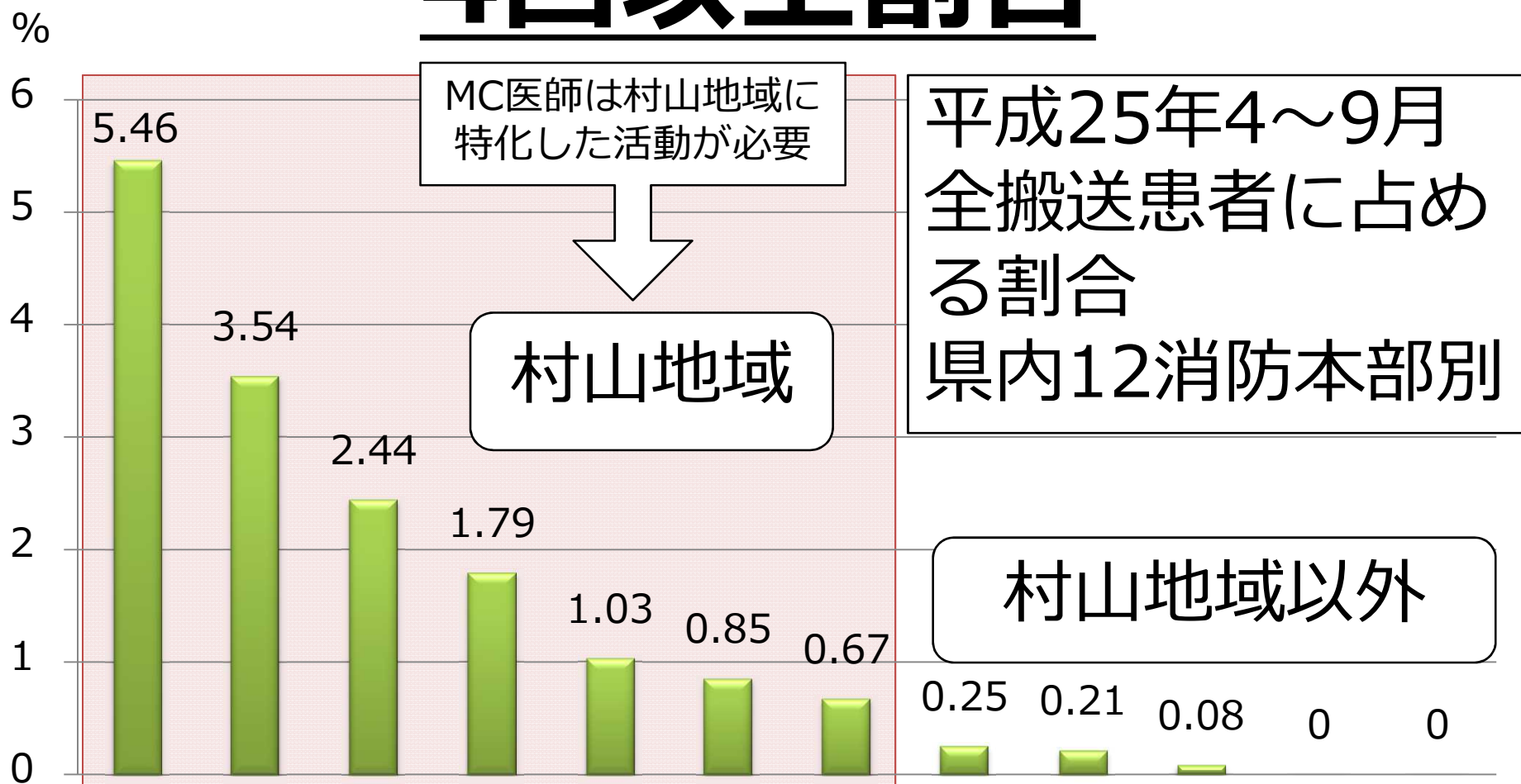
## 山形県と全国の比較



山形県の受入困難事例は全国平均以下

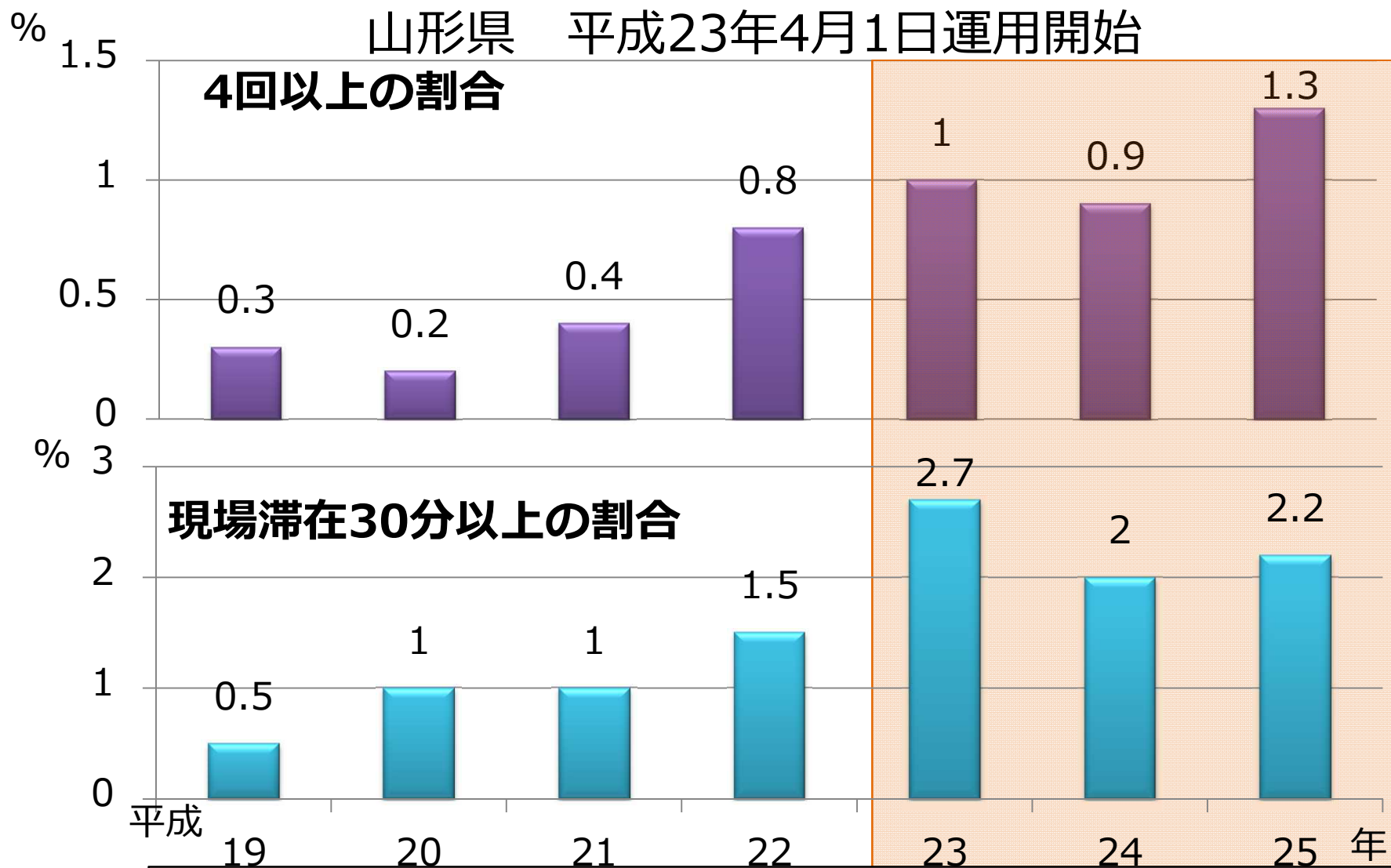
# 消防別受入照会件数

## 4回以上割合



地域間格差が山形県の大きな問題

# 実施基準運用開始前後での変化



実施基準運用後も改善なし

# 準備会の開催

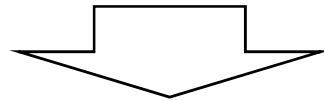
- 平成27年4月21日開催
- 出席者：村山地域教育指導WG委員、MC医師、県の担当者

- 今後の進め方について意見交換を行った
- 村山地域救急搬送改善検討会（仮称）を設置  
受入困難事例減少について協議を進めていく
- 永く続けられる方法で行うべき(特定の医療機関を叱責する検討会にはしない)

# 今後の予定

## より詳細な実態調査

救急搬送状況調査に基づく統計データの作成  
各病院毎の実態が判るデータ



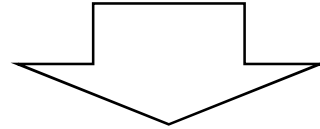
## 救急告示病院、消防本部での検討

- 現状を知ってもらう
- 自ら振り返り、課題について改善策を検討してもらう

当事者意識を持ってもらう



# 今後の予定



## 作業部会を設置

救急告示病院・消防での検討を踏まえ、改善策を総合的に検討

部会員(案)

村山地域教育指導WG委員

村山地域受入実施基準協議会委員

MC医師

# 説明会の開催

- 平成27年5月18日  
『村山地域救急搬送改善検討会設置  
に関する説明会』を開催
- 出席者：村山地域救急告示病院・医師会  
・各消防の代表者、MC医師、  
県の担当者
- 内容：搬送困難事例の発生状況の説明  
今後の協力依頼

# 説明会での話題

- 医師不足から救急医療に協力できていない。(搬送困難の多い地域の病院)
- 応需不能の理由の明確化が必要。
- 改善策を検討する作業部会には、各病院の代表者も入れるべき。
- ICTを導入し情報共有を図るべき。
- 予後調査とリンクさせ、予後を悪化させたと思われる事例を拾い上げるべき。

村山地域の搬送困難事例を減らす必要性  
⇒異議なし ⇒改善検討会を進める

# まとめ

- 山形県では、各救急告示病院、消防機関が当事者意識を持ち、自ら改善策を検討していく体制作りを進めている。
- MC医師単独では問題を解決できない。各病院、消防、行政などの協力を得ながら、調整を図っていく。
- MC医師は各分野の状況を熟知し、中立的な立場で活動するべきである。
- MC医師は、行政（県）担当者が気軽に相談できる相手となるべきである。